

島根革新懇、沖縄と連帯する島根の会
極東最大の航空基地・米軍岩国基地
海上自衛隊呉基地ツアー報告①

島根革新懇と沖縄と連帯する島根の会の共催で6月2日～3日・1泊2日の「岩国・呉ツアー」が企画され、松江から10人、出雲から7人の計17人が参加しました。(文責・YU)

■6月2日(土)
岩国基地シンポに参加

大平喜信前衆院議員の司会でパネリストによる報告がありました。

◇比嘉瑞己・沖縄県議

名護市長選結果による新たな「諦めない」闘争が盛り上がりつつある。米軍機で多発する部品落下。それを認めない米軍。県議会決議では

「沖縄は植民地でない」と明記。

◇藤井克彦・神奈川県議

厚木基地で拡大される空母着艦訓練に、住民からは身の毛もよだつような爆音被害。

◇松田一志・岩国市委員長

東洋一の規模といわれる岩国基地に艦載機部隊移駐。厚木基地同様、空母着艦訓練が進ん

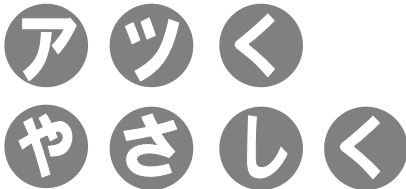
“我慢の限界”岩国基地騒音被害

米軍岩国基地への艦載機移駐計画が3月末日に完了し、120機の米軍機が駐留する極東最大級の出撃基地と



前衆院議員 大平よしお

大平よしおのぶ



なりました。その後、2カ月の間、基地周辺各地に通い、住民のみなさんからお話を伺っています。我慢の限界を超えていた爆音被害が、さらにケタ違いのものとなつてきているのを感じます。

山口県周防大島町では、2人の子どもを育てる若いお母さんが「この島で生まれ育つたけど、これまで体験をしたことのないような爆音だった。2日と続けばノイローゼになつてしまうほど酷いものだった」と話します。岩国市由宇町の小高い丘に、数年前越してきたご夫婦のお宅に伺

え、到着するやいなや2機編隊、3機編隊と次々に目の前を米軍機が横切つていきまし。今日はこれでもう20機近く目撃した」と話すお父さん。お聞きした実態をもつて毎週のように防衛省、中四国防衛局に抗議の申し入れを行ってきました。担当者からは「米軍には最小限の影響にとどめるよう最大限配慮するよう求めている」と、これまで一言一句変わらない、相変わらずの答弁。(以下やりとり)

私 あなたたちがそう言っている間に、これまで体験したことのない、最大級の被害が広がっている。北広島町ではこれまでの海兵隊の訓練に加えて、艦載機の訓練も目撃された。移駐完了後の訓練がどれほど激化しているかわかつて言っているのか。

私 この2カ月どういう結果だったのか。防衛省 まだ出ていない。結局把握していないではないか。実態を把握していないのに、どうして最小限の影響にとどめるよう求められるのか。

私 みなさんと心一つに、全身全霊をかけていよいよたたかうときだと決意しています。

国内最大級の島根3号機は巨大なリスク(危険性)を抱えている
島根3号機の出力は、国内最大級の137万3千キロワット。中電は「従来に比べ、信頼性、安全性がより向上した」と言うものの、3号機は巨大なリスクを抱えています。技術者・専門家は「福島事故以前の原子炉で、経済性を求めた構造」とし、国際水準比較では、コアキャッチャー(炉心溶融物保持装置)や格納容器の二重防護壁も設置されておらず、安全性で大きく見劣りすると警告しています。

原発事故と自然災害が重なる「複合災害」への備えこそ急務
近年、火山噴火、大雨、豪雪、大地震など自然災害が相次いでいます。実効ある複合災害対策の強化が求められます。災害に強い県土づくりも急務です。

(右表は30キロ圏内自治体の防災・災害対策の現状)

でいる。FCLP(陸上での空母着艦訓練。タツチ&ゴー)、NUP(FCLP夜間訓練)、CQ(着艦取得訓練。実際の空母に着艦できる実レベルでの資格取得)が日夜行われ、住民のあいさつ言葉が「昨日はうるさかったねー」「よう飛ぶのー」。

防衛省は、米軍には安全な運行を要請しているとのことだが、米軍の感覚は「戦闘訓練だから安全なはずがない」との認識。
自分「熱血弁護士」の仁比です」と自己紹介。

重い報告が続いていたので、会場に笑いが起こる。「さすが国会議員」とつまらぬことで感心。「基地の騒音や危険性の問題は、諦めない」心が大切。沖縄に通じるものですよ」と締める。今回のシンポジウムでは、広島県廿日市市などで急増する騒音被害の告発、自衛隊基地(呉、萩、日本原、美保)の各地元の運動も報告されました。

出雲の神々が守っているのが郷土も「例外外ではあり得ない状況が迫っているな」と思いました。(続く)

原発のない安全・安心の島根を 3号機新規稼働への道を許すな

6月定例県議会が6月12日に開会となりました。6月議会の焦点は「島根原発3号機における新規規制基準への適合性確認審査に係る事前了解願い」を了承させないたたかひにあります。日本共産党は「3号機稼働許さず原発ゼロの島根の実現」を求めます。

原発推進勢力の島根3号機「必要性論」を斬る

原発推進勢力(国、電力会社)は「安定供給」「経済性」「地球温暖化対策」のために、原発の稼働が必要と言います。しかし、福島原発事故処理費用(廃炉、賠償、除染費用)は現時点で21兆円を超え、最大で70兆円超とも試算されています。原発ほど国民に巨大な経済負担を、累積的に、半永久的に強要するものはありません。また、原発は、事故や不祥事により電力供給が不安定・不確実なものです。事故が起これば、広範囲で長期間の放射能汚染をもたらす「異質の危険」を持つ未完全な技術です。

国内最大級の島根3号機は巨大なリスク(危険性)を抱えている

島根3号機の出力は、国内最大級の137万3千キロワット。中電は「従来に比べ、信頼性、安全性がより向上した」と言うものの、3号機は巨大なリスクを抱えています。技術者・専門家は「福島事故以前の原子炉で、経済性を求めた構造」とし、国際水準比較では、コアキャッチャー(炉心溶融物保持装置)や格納容器の二重防護壁も設置されておらず、安全性で大きく見劣りすると警告しています。

3号機はコスト優先で、原子炉建屋と格納容器を一体化し、十分なる安全性の検証もありません。原子炉建屋の破壊が格納容器の破壊に連動しかねない危険をはらんでいます。

原発事故と自然災害が重なる「複合災害」への備えこそ急務

近年、火山噴火、大雨、豪雪、大地震など自然災害が相次いでいます。実効ある複合災害対策の強化が求められます。災害に強い県土づくりも急務です。

■落石等通行危険箇所の整備状況

| | 総点検要対策箇所 (H8・H9年総点検) | 対策済み数 (H28年度末) | 整備率 |
|-----|-------------------------|-------------------|-------|
| 松江市 | 176 | 74 | 42.0% |
| 出雲市 | 154 | 44 | 28.6% |
| 安来市 | 80 | 25 | 31.3% |
| 雲南市 | 127 | 48 | 37.8% |

■土砂災害要対策箇所の整備状況

| | 要対策箇所 (H14年度取りまとめ) | 整備済箇所 (H28年度末) | 整備率 |
|-----|-----------------------|-------------------|-------|
| 松江市 | 780 | 134 | 17.2% |
| 出雲市 | 631 | 113 | 17.9% |
| 安来市 | 237 | 33 | 13.9% |
| 雲南市 | 525 | 109 | 20.8% |

■県管理橋梁の耐震化の状況

| | 耐震対策が必要な橋梁 | 耐震対策済 (H28年度末) | 整備率 | 左のうち緊急輸送道路上 | | 整備率 |
|-----|------------|-------------------|-------|-------------|-------|-------|
| | | | | 耐震対策が必要な橋梁 | 耐震対策済 | |
| 松江市 | 33 | 12 | 36.4% | 17 | 12 | 70.5% |
| 出雲市 | 51 | 9 | 17.6% | 23 | 7 | 30.4% |
| 安来市 | 11 | 6 | 54.5% | 11 | 6 | 54.5% |
| 雲南市 | 35 | 13 | 37.1% | 20 | 13 | 65.0% |

(データは島根県土木部より。県議団作成)